

陳 情	受 理 番 号	6	受 理 年 月 日	令和3年8月19日	付 託 委員会	教育福祉
件 名	コロナ禍のもとで子どもたちおよび女性の健康と学習権を守るため、学校等公的施設のトイレに生理用品を配備し、その予算化を求める陳情					

コロナ禍のもとで子どもたちおよび女性の健康と学習権を守るため、
学校等公的施設のトイレに生理用品を配備し、その予算化を求める陳情

新型コロナウイルスの流行が拡大するに伴い、雇用状況も悪化しています。そのしわ寄せは女性と子ども・学生に強く現れ、生活が困窮する女性や子ども・学生も増えています。このような中で節約のために毎月の生活必需品である生理用品を購入することができず、交換の回数を減らしたり、トイレットペーパーで代用しているなどの声が届いています。そのために不衛生な状態に置かれたり、経血で着ているものや椅子等を汚したりしないかとの不安などから登校できなくなるなど、子どもたちへの影響も見過ごすことができません。

世界では、スコットランドにおいてはあらゆる人に生理用品の無償提供が決定され、ニュージーランドにおいても小学校・中学校・高校での無償提供が決まっています。日本においても内閣府が「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」の視点から、第5次男女共同参画基本計画の中で、女性の健康の基盤となる心身が形成される10代から20代前半の重要な時期に対して、月経を含めた保健の充実の推進が明記され、その具体的な取り組みとして、今年度内閣府では地域女性活躍推進交付金に於いて13億7千万円を予算化し、生理用品の提供を進め沖縄県内の自治体でも取り組みが始まっています。経済的理由によって女性や子どもたちの健康が脅かされることなく、安心して学習できるように下記の事項の早急な実現を強く要請します。

陳 情 事 項

1. 女性・子どもたちが安心して通学・学習ができ、衛生的な生活が保障されるように、学校等公的施設のトイレの個室に返却不要の生理用品を配備すること。また必要な予算措置を行う事。
2. 必要な子どもたちに生理用ショーツの配布を行う事。あわせて、生理をはじめ心や体の悩みを気兼ねなく相談できる環境を整備すること。